

2026 年度 土砂災害予測に関する研究集会開催案内

重力変形斜面の実態解明と防災への展望

趣旨

斜面防災分野において、深層崩壊や地すべりに先行する変動を示す「重力変形斜面 (gravity-induced slope deformation)」が注目を集めている。本現象は、専門分野によって「岩盤クリープ」と称されるなど定義に若干の差異はあるものの、一般には斜面や山体が自重によって長期間にわたり緩慢に変形する現象の総称である。

近年、2025 年 5 月にスイス・ブラッテン村で発生した岩盤と氷河の大規模崩落や、2026 年 8 月にネパールで発生した土石流災害において、発生前から岩盤斜面が変形していた可能性が指摘されており、重力変形との関連性が想起されている。また、防災科学技術研究所の『地すべり地形分布図』において、地すべり初期的変動地形や不安定域などとして示される斜面には、この重力変形斜面に相当するものが含まれている。

このような背景を踏まえ、本研究集会では、重力変形斜面の実態およびそれに起因する斜面災害への理解を深めることを目的とする。重力変形斜面の地形・地質的特徴、その抽出・監視手法に関する調査・研究の現状や課題について、幅広い分野の研究者・技術者から話題提供を受け、最新の知見を共有する。さらに、将来的な課題とその展望について議論を深める契機としたい。

- 主催： 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 後援： 日本地すべり学会・砂防学会・日本応用地質学会・斜面防災対策技術協会
(予定)
- 開催日時： 2026 年 12 月 3 日 (木) 10 時 00 分～17 時 30 分
- 開催形態： Zoom 会議によるオンライン方式 (定員 500 名)
- 発表形式： 基調講演・招待発表・総合討論
- 参加申込： <https://wpld2026.raku-con.com/>
- 申込期間： 2026 年 11 月 2 日 (月) ～2026 年 11 月 26 日 (木) 12:00
- 参加費： 無料
- CPD： 建設コンサルタンツ協会 CPD (予定)
- 問合せ先： 土砂災害の予測に関する研究集会事務局 jisuberi@bosai.go.jp

2026 年度 土砂災害予測に関する研究集会 プログラム

重力変形斜面の実態解明と防災への展望

12月3日(木) 10:00~17:30		
10:00~10:05	開会挨拶	防災科学技術研究所
10:05~10:35	趣旨説明： 防災科研地すべり地形分布図の初期的変形斜面が意味するもの	井口 隆（防災科学技術研究所）
10:35~11:35	基調講演 1： 日本における山体重力変形斜面の研究と変形地形の形成時期について	小嶋 智（元岐阜大学）
11:35~12:00	地形解析に基づく重力変形斜面の実態と類型化	高見智之（国際航業）
12:00~13:00	昼休憩	
13:00~14:00	基調講演 2： 重力変形斜面 — カタストロフィックに壊れるもの、ボロボロ壊れるもの、グズグズ変形を続けるもの	千木良雅弘（深田地質研究所）
14:00~14:25	2026 年 8 月にネパール・中国国境付近で発生した氷河・岩盤崩落に起因する高速・長距離流下現象	鄒 青穎（弘前大学）
14:25~14:35	休憩	
14:35~15:00	ダムサイトにおけるゆるみ岩盤の実態	脇阪安彦（元土木研究所・国土防災）
15:00~15:25	時系列空中写真から読み解く山体重力変形斜面の変化とその解釈	菊地輝行（公立諏訪東京理科大）
15:25~15:50	多時期の航空機レーザ画像を用いた変位計測から見た斜面の重力変形の実測事例	向山 栄（国際航業）
15:50~16:15	初生地すべりを含む重力変形斜面に対する新たな解析手法 — BaFEM	瀬崎章太郎（環境地質）
16:15~16:25	休憩	
16:25~17:25	総合討論	
17:25~17:30	閉会挨拶	